

家庭用

食器乾燥器〈サラピッカ〉 (温風式)

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

品 番

DHG-G_型
DHG-H_型

もくじ

はじめに

- 1 安全上のご注意 2
- 2 各部のなまえ 5
- 3 ご使用前に 6

使いかた

- 4 使いかた 6
- 5 お手入れのしかた 10

困ったときは

- 6 故障かな?と思ったら 12

その他

- 仕様 12
- 消耗品・別売品の
お買い求めについて 13
- 保証とサービスについて ... 13
- 連絡先 13

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では
使用できません。

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>



1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。

^{*1} 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

^{*2} 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

^{*3} 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



注 意

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



禁 止

○記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



指 示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



警告



分解禁止

改造はしない。
修理技術者以外の方は、
分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。



禁 止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。



禁 止

交流 100V 以外では使わない。
（日本国内 100V 専用）
火災・感電の原因。



必ず実施

定格 15A 以上のコンセントを
単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。



警告



禁 止

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。



必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉
・電源コードやプラグが異常に熱くなる。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・自動的に切れるはずなのに切れないときがある。
・いつもと違って温度が異常に高くなったり、こげくさいにおいがする。
・モーターの回転が止まったり遅かったり不規則な時がある。
・異常な振動や音がある。
・その他の異常や故障がある。
すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。



注意



接触禁止

使用中や使用直後は、内部が熱いのでさわらない。
やけどのおそれ。
食器は充分冷めてから取り出してください。



プラグを抜く

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



禁 止

ガスコンロなどの炎や熱気のあたる場所に置かない。
火災の原因。



必ず実施

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。



禁 止

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。



禁 止

フィルターや水受けを取りつけないに使用しない。
虫やほこりが入ったり、火災、故障の原因。

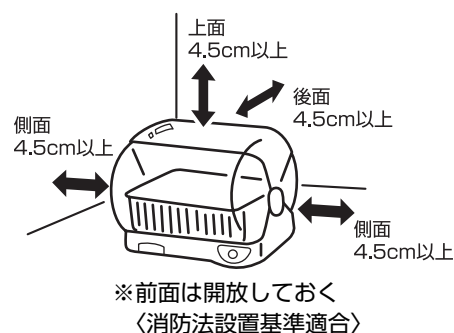
1 安全上のご注意

お願い

- 次のような場所では使わない。

- ・ ビニール製のテーブルクロス・カーペットなど熱に弱いものの上
- ・ 火災やテーブル・敷物の変色・変形の原因。
- ・ 不安定なところ、傾いたところ
- ・ 水が水受けに入りにくく、こぼれる場合があるため。

- 壁・家具・燃えやすいもの（可燃物）から以下の距離を離して使う。



- 食器・まな板・ふきんの乾燥以外には使わない。

- 専用の食器カゴ以外は使わない。
必ず食器カゴに入れて乾燥させる。
故障・変形・変色の原因。

- 包丁は入れない。
あやまって刃に触れたり、落下して、けがをするおそれ。

- 食器やまな板、ふきんは、本体に入れる前に十分に洗う。
異臭の原因。

- 温風吹き出し口をふさいだり、中に物を入れない。
感電・故障・変形の原因。

- 本体、電源コードを丸洗いしたり、本体内部
や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。

- 以下の食器は入れない。

- ・ 漆器
- ・ 樹脂製食器
(スチロール製のもの・耐熱温度 80 度以下のもの)
- ・ ひびの入った食器
- ・ 厚さの変化の大きいガラス食器
(カットガラス・クリスタルグラス)

破損の原因。

- 熱いものや重いものをのせない。
変形・変色・けがの原因。

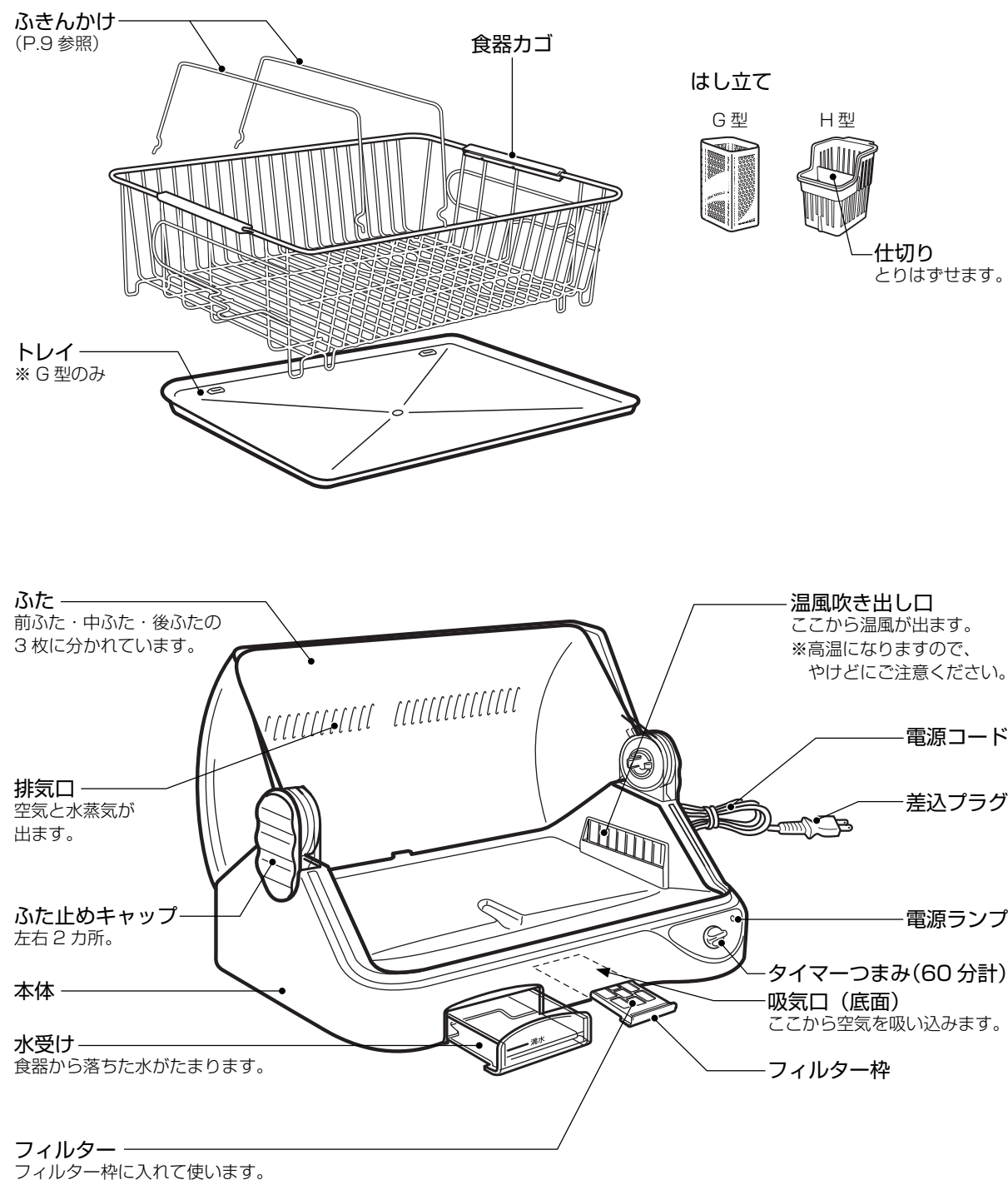
- ふたに強い力を加えない。
破損の原因。

- 吸気口や排気口をふさがない。
カーペットやビニール袋などの上には
置かない。
ふきんなどを、ふたの上にのせない。
乾燥効率の低下・故障・変形の原因。

- 食器を入れた状態で食器カゴの出し入れ、持ち運びをしない。
ふきんかけを持って、持ち運びをしない。
落下して、食器が割れたり、けが・変形・破損の原因。



2 各部のなまえ

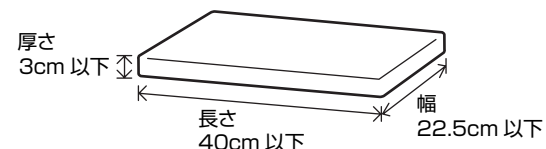


3 ご使用前に

入れる食器・まな板について

食器カゴには7kg以上の食器類は入れないでください。
食器カゴの破損の原因。

〈乾燥できるまな板の寸法〉



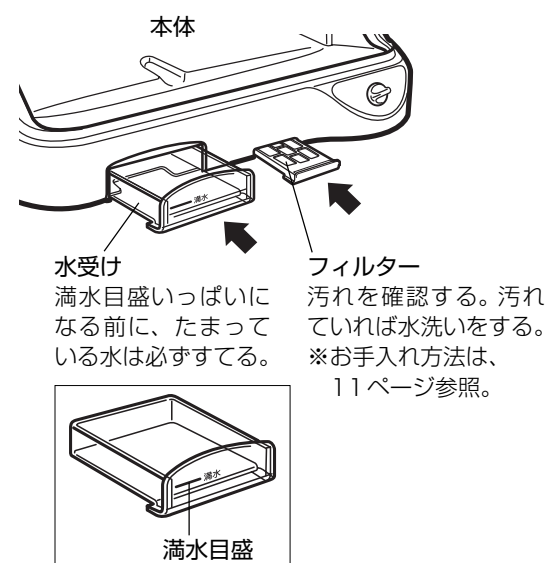
標準食器量の目安（6人分）

食器の種類	個数
大皿（26cm）	2枚
中皿（16～19cm）、小皿	各6枚
茶わん	6個
汁わん	6個
湯のみまたはコップ	6個
はし、スプーン、フォークなど	6人分
まな板	1枚

※食器の形状により入らない場合もあります。

4 使いかた

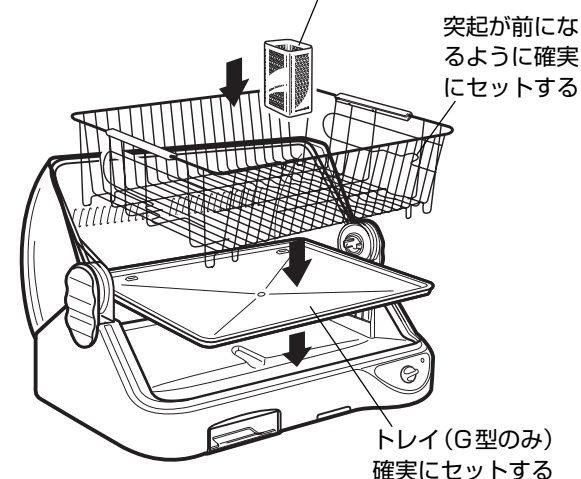
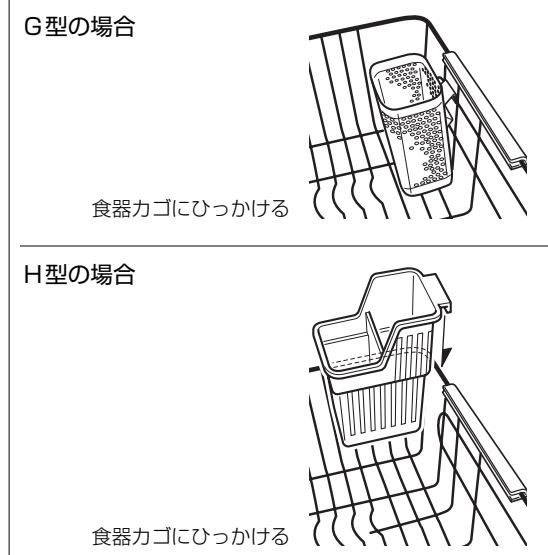
1 水受けとフィルターを確認して、本体にセットする



4 使いかた

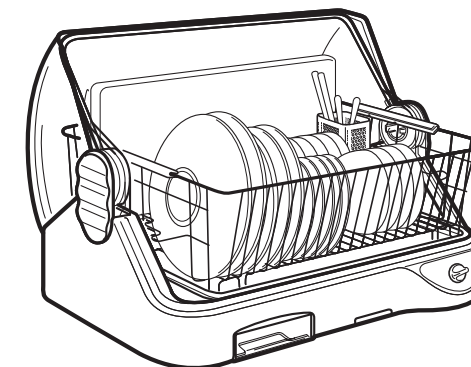
2 トレイ（G型のみ）と食器カゴ、はし立てを本体にセットする

はし立て



3 食器類を入れ、ふたを閉める

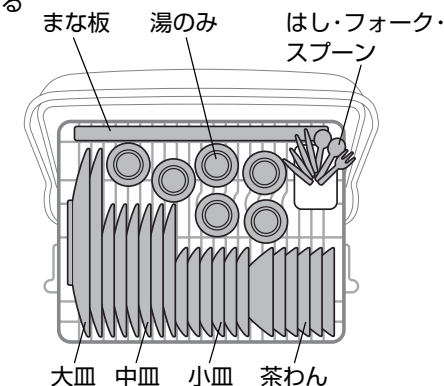
〈収納例〉



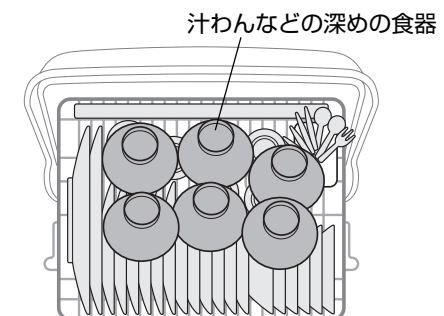
食器の並べかた例

※図は上から見ています。

①まな板と食器（汁わんなどの深めの食器以外）を入れる



②汁わんなどの深めの食器を重ねる

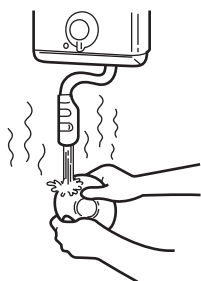


※ご使用中、ふた止め部付近に、樹脂の粉が付着することがありますが、害はありません。
※食器でふたが浮かないように、きっちりと入れる。
※ふたの開閉は、最後まで手をそえて、静かにおこなう。
※食器を食器カゴの底部に積み重ねると、乾燥効率が悪くなります。

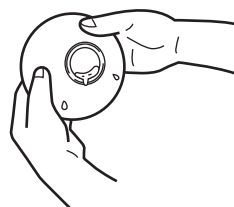
4 使いかた

上手な使いかた

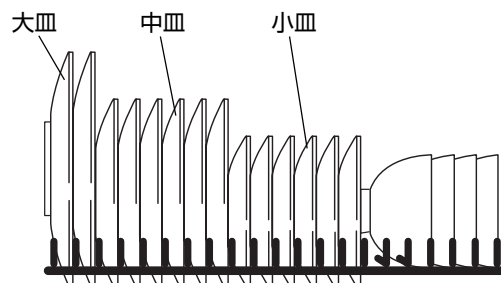
- 食器をお湯で洗ってから入れる。



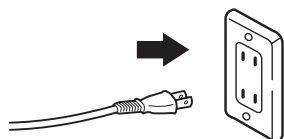
- 洗った後は、水切りを充分におこなってから入れる。
(特に糸じりに水がたまらないようにする)



- 食器は、左から大皿、中皿、小皿と適度な間隔をあけて入れ、空気の流れをよくしておく。



4 差込プラグをコンセントに差し込む



5 タイマーをセットする

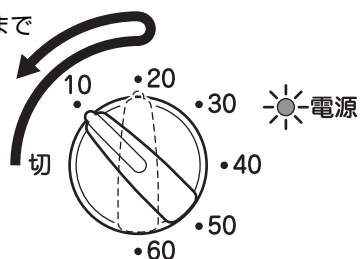
電源ランプが点灯し、乾燥を開始。

標準食器量：6 人分
標準乾燥時間：約 50 分

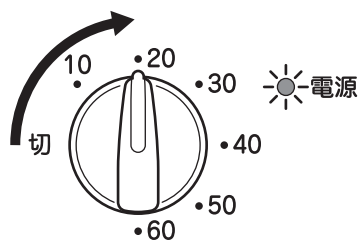
■目盛 10 以内にセットする場合

- ①「10」以上回す

- ②「10」まで戻す



■目盛 10 以上にセットする場合



つまみを回して目盛に合わせる

- ※乾燥時間は、室温や湿度、食器の入れかた、量、形状により多少異なります。
- ※木製のまな板の場合、乾燥時間が長くなることがあります。
- ※使いはじめににおうことがありますが、異常ではありません。
- ※乾燥が不足しているときは、タイマーをセットして追加乾燥する。

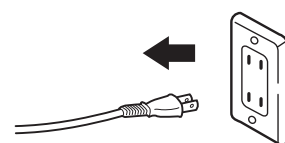
途中で乾燥を中止するとき

タイマーつまみを「切」に（電源ランプが消えるまで）戻す。

6 乾燥終了

電源ランプが消灯。

7 差込プラグをコンセントから抜く



8 水受けの水をすてる

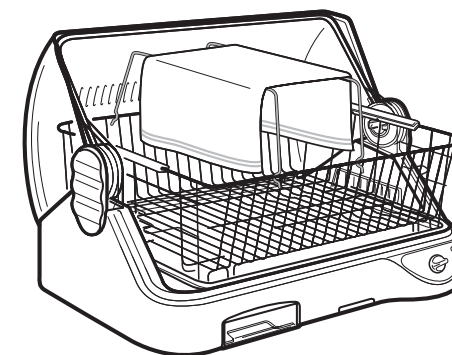
9 食器やまな板が冷めてから（約30分後）取り出す

※食器はまとめて取り出さず、1 つずつ取り出す。

- ご注意** 使用中や使用直後（約30分）は、食器類や食器カゴ、温風吹き出し口、はし立て、トレイ（G型のみ）などが熱くなっているので、さわらない。やけどのおそれ。

ふきんを乾かすときは…

ふきんかけを図のように、食器カゴにひっかけて使用する。



- ご注意** ふきんを乾かすときは、食器を入れない。ふきんのにおいが食器にうつる原因。

5 お手入れのしかた

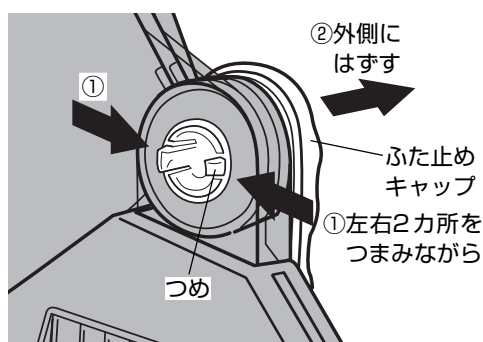
ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために、必ずその日のうちにお手入れしてください。また、お手入れは定期的に行ってください。

- ◆必ず差込プラグを抜き、本体と温風吹き出し口が冷えてからお手入れする。
- ◆洗剤でお手入れするときは、必ず台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使用する。
- ◆シンナー類、クレンザー、漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆本体の丸洗いは、絶対にしない。

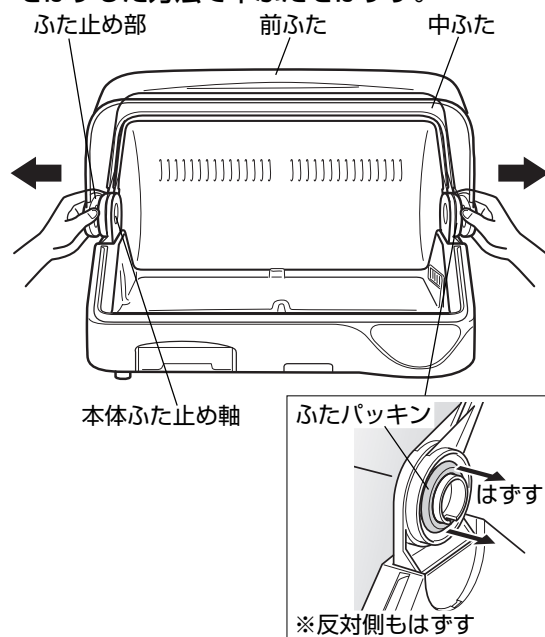
ふたのはずしかた・取りつけかた

■ふたのはずしかた

- ①ふたを開け、食器カゴを出す。
- ②ふた止めキャップ（左右2カ所）のつまめをつまみながら、外側へ押し出してはずす。



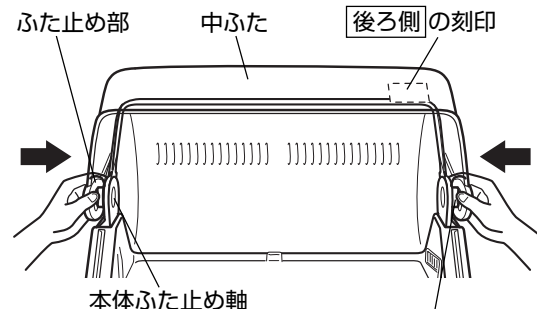
- ③前ふたを少し閉じた状態で、ふた止め部を少し広げながら、前ふたを本体ふた止め軸からはずす。
- ④左右のふたパッキンをはずしてから、前ふたをはずした方法で中ふたをはずす。



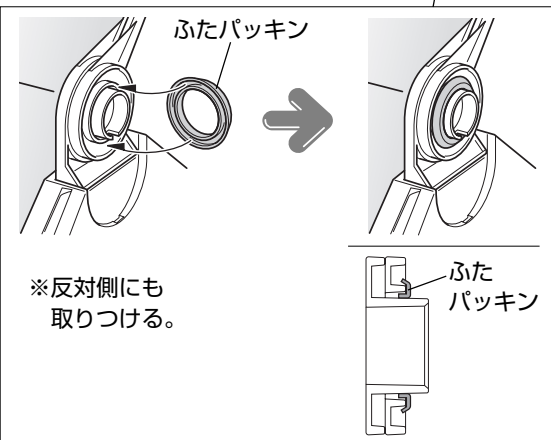
※後ふたは、とりはずしができません。

■ふたの取りつけかた

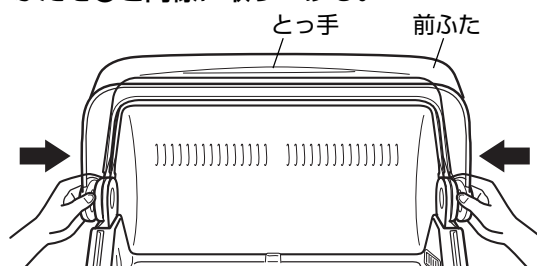
- ① 後ろ側の刻印が中ふたの右側になるようにした状態で、ふた止め部を少し広げながら、中ふたを本体ふた止め軸にはめ込む。



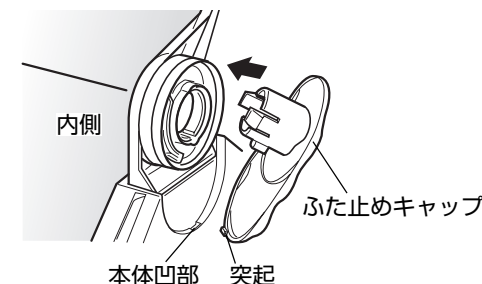
- ②ふたパッキン（左右2カ所）を取りつける。



- ③前ふたのとっ手が前側になるようにして、前ふたを①と同様に取りつける。



- ④ふた止めキャップ（左右2カ所）の下側の突起を図のように本体凹部にひっかけてから、カチッと音がするまで押し込む。



	①洗剤をやわらかいスポンジに含ませて洗う。 ②乾いた布で水分を充分にふきとる。 ※ふた、水受けは傷つきやすいため、必ずやわらかいもので洗う。 ※食器カゴ、はし立ての細かい目の部分は、歯ブラシなどを使う。
	①ふきんに洗剤をうすめたお湯を含ませ、固くしぼり、汚れをふく。 ②乾いた布でからぶきする。
	■フィルター ①水洗いをした後、かげ干しをする。 ②充分乾いた後、フィルター枠にとりつけ、本体に確実にセットする。 ※フィルターは消耗品です。傷んできたら、交換してください。 ■フィルター枠 ①洗剤をやわらかいスポンジに含ませて洗う。 ②乾いた布で水分を充分にふきとる。

6 故障かな？と思ったら

次の点検をしてもなお不具合の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

こんなときは ▶	確認と処置	参照ページ
電源ランプが点灯しない	差込プラグが、コンセントからはずれていませんか。 (差込プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。)	8
乾燥状態が悪い	食器を入れすぎていませんか。	6
	食器を適度な間隔で入れていますか。	8
	フィルターにほこりがたまっていますか。	6・11
水もれする	水受けの水がいっぱいになっていませんか。	6

仕様

品番		DHG-G400	DHG-H400
電源		交流100V 50-60Hz 共用	
消費電力 (W)		305	305
乾燥方式		温風式	
外形寸法* (cm)	幅	50.2	50.2
	奥行	37.2	37.2
	高さ (最大)	37.6 (38.4)	37.6 (38.4)
質量* (kg)		4.4	3.9
コードの長さ (m)		1.8	1.8
安全装置		サーモスタット・温度ヒューズ	

* おおよその数値です。

■抗菌加工について

●フィルター
銀系 (Ag) 抗菌加工を施したポリウレタンフォームを使用しています。

試験依頼先	一般財団法人 カケンテストセンター 大阪事業所
試験番号	CK-12-018652 (1)
試験方法	JIS L 1902 に基づき抗菌加工を確認済
加工方法	フィルターに浸漬加工
使用抗菌剤	銀系抗菌剤
試験結果	18 時間で99%以上抑制

●水受け
銀系 (Ag) 抗菌加工を施したポリスチレン樹脂を使用しています。

試験依頼先	一般財団法人 カケンテストセンター 大阪事業所
試験番号	CK-12-009895-1
試験方法	JIS Z 2801 に基づき抗菌加工を確認済
加工方法	プラスチックに練り込み加工
使用抗菌剤	銀系抗菌剤
試験結果	24 時間で99%以上抑制

消耗品・別売品のお買い求めについて

消耗品について、汚れや破損がひどくなったときは、以下のいずれかでお買い求めできますので、ご相談ください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口 (下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ (下記「連絡先」参照)

◆フィルター・ふたパッキン (消耗品)
◆樹脂部品 (傷んできたとき)
熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。

保証とサービスについて

※ 修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」(P.12) をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 …… おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき …… まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況 (できるだけくわしく)

4 食器乾燥器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 …… 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業 (修理および部品交換・調整・修理後の点検など) の料金です。

部品代 …… 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口 (下記) までご相談ください。

●本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日 (祝日・弊社休業日を除きます)
※携帯電話・PHSとIP電話等 (ナビダイヤルを利用できない電話) の方はこちらへ TEL (06) 6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>